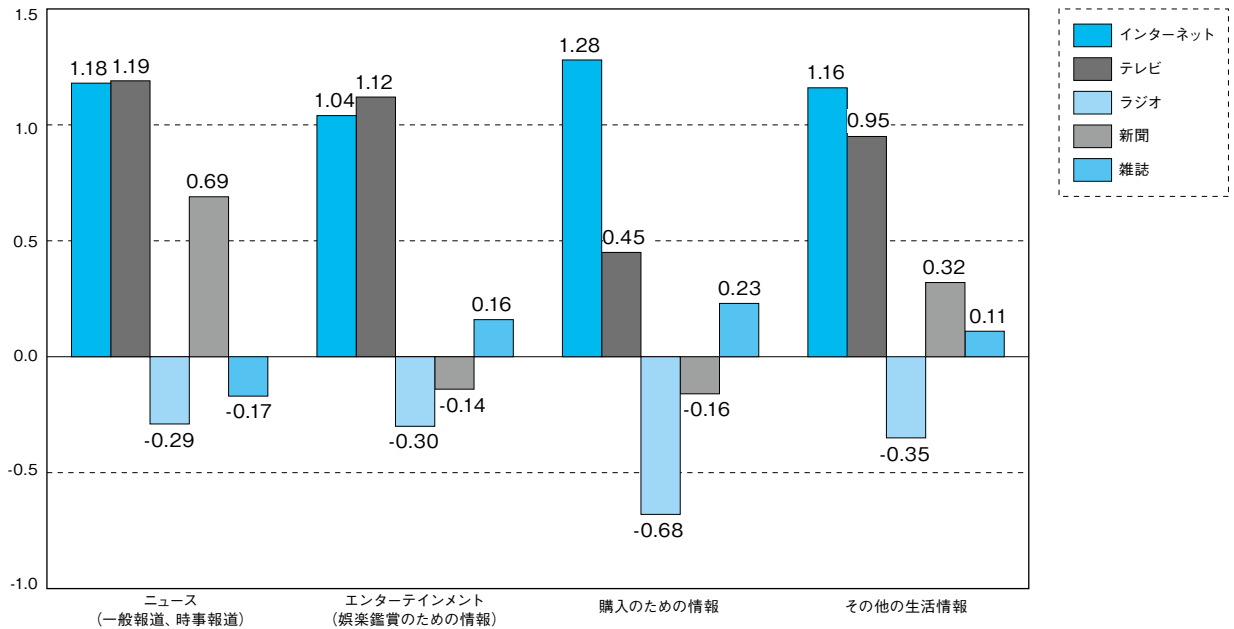


インターネットをテレビ以上に利用し、重要視

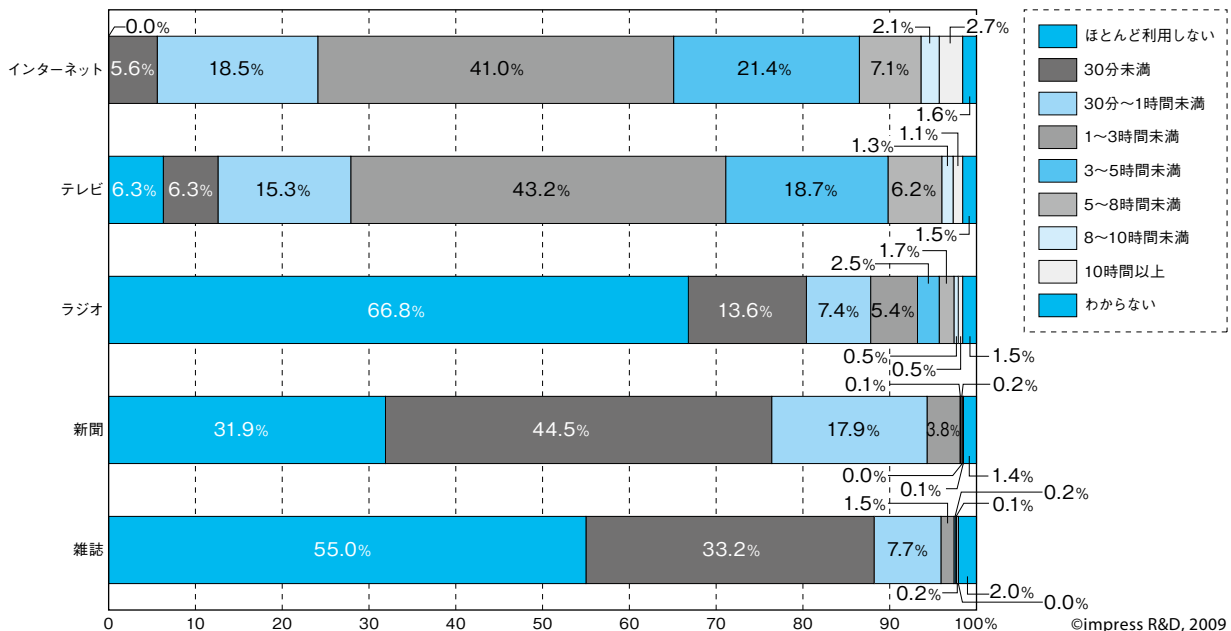
「インターネット」「テレビ」「ラジオ」「新聞」「雑誌」の各メディアについて、それぞれの情報を得るための重要度を訊ね、加重平均値を算出したものである。重要でない～重要までを5段階とし、-2～2点としている。「インターネット」がすべての項目で最も高い、あるいは「テレビ」とほぼ並んで2位となっている。また、各メディアの利用時間も重要度と比例しており、インターネットの利用時間が最も長く、テレビが続いている。

資料7-3-1 目的別メディアの重要度比較(加重平均値) N=3,332



©impress R&D, 2009

資料7-3-2 1日当たりのメディア別利用時間(マス4媒体とインターネット) N=3,332

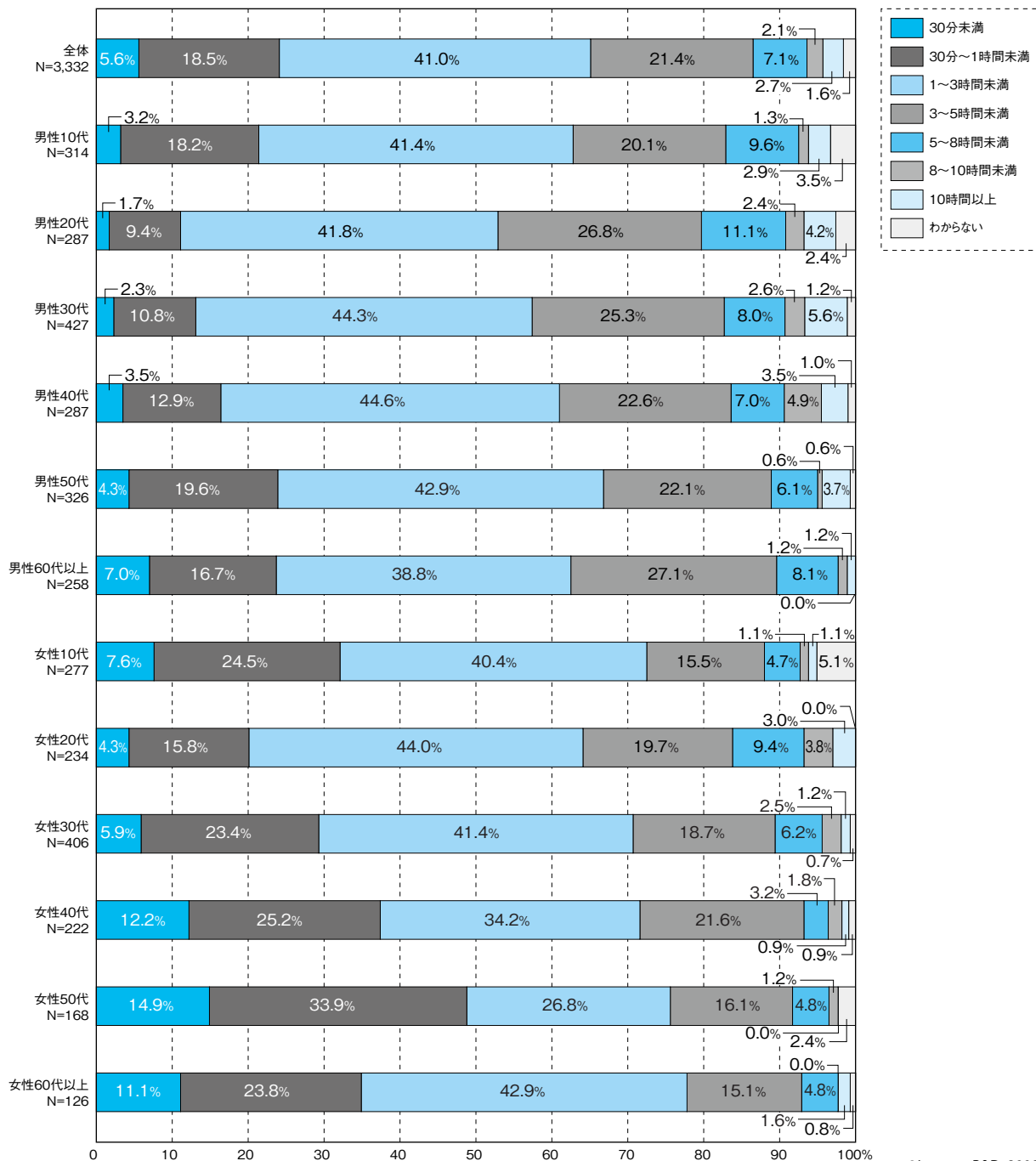


©impress R&D, 2009

20代、30代男性の4割以上が1日に3時間以上インターネットを利用

1日におけるインターネットの利用時間は、男性20代、30代が最も長く、3時間以上の比率がそれぞれ44.5%、41.5%と4割を超えている。男女とも20代が最も利用時間が長く、年代が上がるにつれて利用時間は低下する傾向にある。また、男性と女性とを比較すると、女性20代の3時間以上の比率は35.9%と男性20代より低く、全体的に女性より男性の利用時間のほうが長い。

資料7-3-3 1日当たりのインターネット利用時間[全体と性年代別]

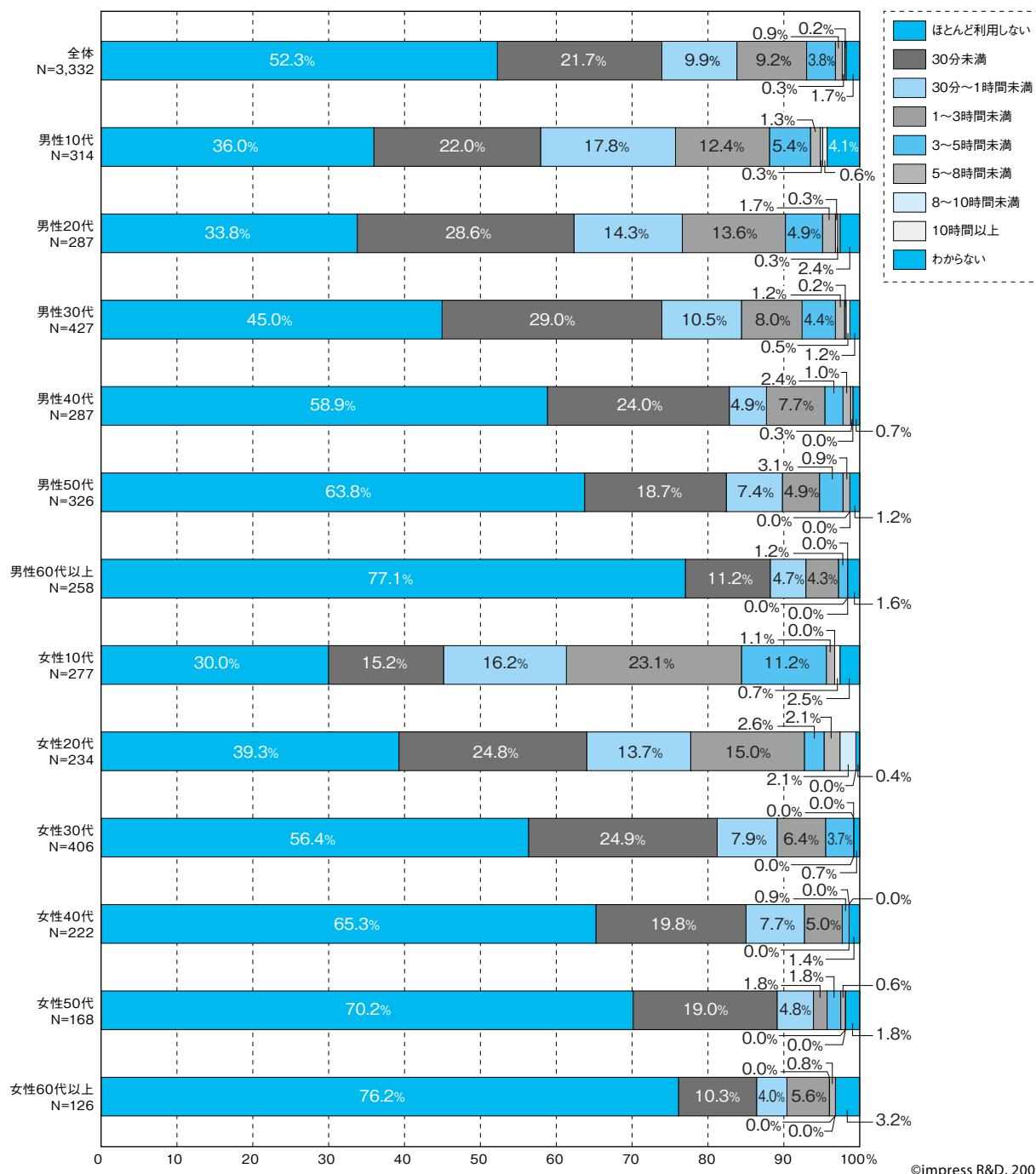


©impress R&D, 2009

女性10代が最も長いケータイインターネット

1日における携帯電話でのインターネットの利用時間は、女性10代が最も長く、1日に1時間以上利用する比率が4割近くに達する。男女とも10代、20代が最も利用時間が長く、年代が上がるほど利用時間は低下する傾向にある。なお、本調査の対象者はパソコン利用者であることも影響し、利用時間は全体的に短い可能性もある。

資料7-3-4 1日当たりの携帯電話でのインターネット利用時間[全体と性年代別]





[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp